

モーター走行を中心に、爽快で上質な走りを低燃費で実現するHonda独自のハイブリッドシステム。

新型ACCORDが搭載するのは、日常シーンのほとんどをモーターで走行し、モーターよりもエンジンのほうが効率が高い領域をエンジンで走行する独自の2モーターハイブリッドシステム「e:HEV（イーエイチイーブイ）」。Hondaは2013年に「Sport Hybrid i-MMD」として実用化して以来、エンジンやモーターなどの基幹技術はもちろん、ドライバビリティに重要な制御技術の改良をたゆまずに推進。そして、ドライバーの感性にマッチし操る楽しさを増幅するハイレベルなシステムへと進化させました。

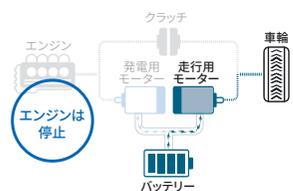


▶ モーター走行を中心に、さまざまなドライブモードを最適に使い分ける「e:HEV」

エンジンで発電しモーターで走行するシリーズ式の「ハイブリッドドライブ」を基本とし、バッテリー電力のみで走行する「EVドライブ」や、エンジンで直接タイヤを駆動する「エンジンドライブ」など、さまざまなドライブモードを状況に応じて最適に使い分け、あらゆるシーンで高効率な走行を実現します。

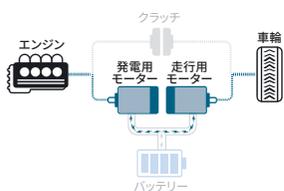
「e:HEV」の代表的なドライブモード

■ EVドライブモード



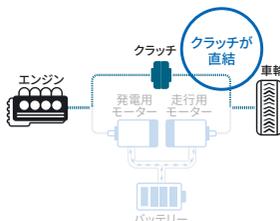
バッテリーに蓄えられた電力のみで走行用モーターを駆動。ガソリンを使わずに電気自動車として走行します。

■ ハイブリッドドライブモード*



高負荷走行時やバッテリー残量が少ないときには、エンジンで発電用モーターを駆動し発電。その電力を走行用モーターへ供給しシリーズ式のハイブリッド車として走行します。

■ エンジンドライブモード*



高速クルージングなど、モーターよりもエンジンで走行したほうが効率が良い場合、クラッチによってエンジン出力軸とタイヤ駆動軸を直結しガソリンエンジン車として走行します。

機械的な伝達 電気的な伝達

* 走行状況に応じて、発電した電力の一部をバッテリーに供給する走行充電や、バッテリー電力とモーターによる走行アシストを行います。

▶ モーターとエンジン、それぞれの長所を高次元で融合させた「e:HEV」

走行状況に応じてドライブモードを使い分ける「e:HEV」は、電気エネルギーやエンジン動力を最も効率よく使うことができる高効率なハイブリッドシステムです。

▶ 「e:HEV」

日常シーンのほとんどをモーターで走行。高速クルージングなどモーターよりもエンジンのほうが効率が高い領域はエンジンで走行し、あらゆる領域で優れた燃費性能を発揮。

▶ 一般的なシリーズ・パラレル方式

エンジンとモーターの割合を状況に応じて変化させるため複雑な機構が必要。その分、機械的の伝達と電気的伝達の両方でロスが発生。

▶ 一般的なシリーズ方式

つねにエンジン動力で発電しモーターで走行。高速クルージングでは、負荷が低いにもかかわらずモーターを高回転で回す必要があるため、エンジンの発電量を増やさなければならず非効率。

